

令和8年度 遠野市立小友小学校働き方改革アクションプラン

遠野市立小友小学校では、「遠野市立学校教職員働き方改革プラン」に基づき、以下の取組により学校における働き方改革を推進します。

目指す姿

- ◆教職員が気持ちにゆとりをもち、じっくりと一人ひとりの児童と向き合い教育活動を行っている。
- ◆管理職が職員をよく観て、声をかけ、風通しの良い職場づくりを行っている。
- ◆職員室内、校内で笑顔があふれ、明るい学校を目指して取り組んでいる。
- ◆職員が勤務時間内に業務を終了する意識をもち、業務にあたっている。

働き方改革の重点取組

取組① 業務量の削減

- ◆校務支援ソフト等を各自が活用し、さらなる校務の連動を図る。(学校日誌、行事反省、各種調査等)
- ◆会議資料のペーパーレスとし、提案の簡素化と短時間での会議を終了する。
- ◆保護者・職員へのアンケートは、アンケートフォーム等を活用し、集計の簡素化を図る。

取組② 業務量の調整の推進

- ◆管理職が日常の職員の様子を観て、臨機応変に授業、学級経営上の指導や支援を行う。
- ◆主任層等に対して、空き時間を確保するなど必要な業務時間の捻出を図る。
- ◆複式指導を解除し、単式指導を確保することで、学習指導の負担の軽減を図る。

取組③ 業務改善の実施

- ◆ノー残業デイを継続し、通常日も時間内業務への取り組み方の意識化を推進する。
- ◆見通しをもった業務推進を日頃より心がけ、全職員が勤務時間内に業務を終えるよう心がける。
- ◆校内連絡を校務支援ソフトの掲示板、メッセージ等を活用してペーパーレス化を図り印刷作業を削減。

	現状	具体的成果目標 (数値目標)	関係する 重点取組
目標①	時間外在校時間65時間以上0名である。	時間外在校時間60時間以内0名	① ② ③
目標②	教職員全員が日常的に、定時退庁を心がける。	週1日は定時退庁日を設定する。	③
目標③	職員会議の実施時間が1.5時間以内である。	内容によっては職員会議を1時間以内で終了する。	①

